

北海通
道札
底料大
多
心
三
百
有
餘
文



誠

大正

九年

年

十月

月

四

日

鋼

商



勝本忠兵衛商店

大阪市西區南堀江通壹丁目

勝本忠兵衛

電話番號

西區一七六三番

發電零號

(カッ)又ハ(カ)

振替口座

大阪四五〇五八番

取引銀行

株式加島銀行南支店

大業家なる道

大業家かたし

再利実世の中

雨のさす

三十日の中

信者の原

海へ空たれ

思ひたれ

一と何人か藤

清葉人男力の

子よる

一棟七の

主一割

清原人男力の終

子に於て其の

一様七の事あり

主として其の

成り第一の事

らむとせば其

の事とて其の

事ありとの事

之を以て其の

4 減し其の事

を以て其の事

編輯の事あり

考考初より其

持たる事あり

編輯の連中を律せ

考初より撰し了稿

持たる所押座しん

かは不伊妻の社

分取せよとい憲

退職を告る三月

書つたも不拘墨

と申し細石清

遊如起りて隨

中よりと話して

とて入流り身

十日の旨 附 再

時

大

退職を告ぐる三月

書つたも不拘墨圓

女申し細石清泉人

遊如起りて隨ふ

中よりと話して

是より清方身中

十日會白紙

梅野也

少田大日記

1. 3. 30. 如く

直記